

# 保護者アンケートの結果について

保護者の皆様、アンケートへのご協力有り難うございました。アンケートの概要及びまとめは次のとおりです。

## I 保護者アンケートの概要

- |      |                                                                                                        |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 目的 | 保護者の評価を生かした本校教育活動の改善のため                                                                                |
| 2 実施 | 平成27年1月                                                                                                |
| 3 対象 | 全保護者（回収96名 回収率62.8%）                                                                                   |
| 4 方式 | 無記名選択・自由記述                                                                                             |
| 5 項目 | ①教育方針（3項目）      ②学校と保護者との連携（3項目）<br>③学習指導（3項目）      ④生徒指導（6項目）<br>⑤進路指導（5項目）      ⑥施設設備（1項目） ⑦その他（1項目） |
| 6 基準 | 各項目を次の基準で評価<br>A：十分 B：おおむね十分 C：やや不十分 D：不十分 E：わからない                                                     |

## II 評価の概要

今年1月に実施した「本校教育活動に関する保護者アンケート」は、回収率が62.8%と昨年度より12.4%減少となりました。回収期間が短い等ご迷惑をおかいたしましたが、ご多用にもかかわらず、アンケートへ回答いただいた保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。次年度以降回収率増加への工夫が必要だと感じております。

今回、7分野22項目で評価をお願いしました。回答総数（22項目掛ける回答者96名）に占める割合は、A（十分）とB（やや十分）を合わせると66.6%に達しました。本校の教育活動に対し、保護者の6割以上からB以上と評価されたことに感謝申し上げたいと思います。

しかし、D（不十分）と評価する保護者が4.1%、C（やや不十分）と評価する方が17.7%となっています。割合としては昨年とほぼ変わらない結果となりましたが、この結果を真摯に受け止め、教育活動の見直しと改善に努めて参りたいと考えております。

なお、11.6%の保護者がE（わからない）と回答しています。本校では、ホームページによる情報発進、学校通信「ネットワーク月高」の全保護者への配布、学年通信・学級通信の配布、授業公開日の設定等の教育活動の公開に加え、アンケート項目にそった教育活動の説明を付け加える等の工夫に努めて参りましたが、一層の改善が必要と感じております。

## III 厳しい評価をいただいた分野及び質問項目

○評価平均値（A＝2、B＝1、C＝－1、D＝－2、E＝0として算出）の低い順に3つを次に掲載します。

＜分野別（平均）＞

①学習指導（0.40） ②施設（0.46） ③進路指導（0.54）

＜質問項目＞

①授業は、生徒の興味関心を高める工夫がされているか。（0.19）

②授業は、生徒一人一人の理解度に合わせて行われているか。（0.35）

③生徒の悩みや不安を聴く相談活動は、適切に行われているか。（0.40）

○最も厳しい評価をいただいた分野が「学習指導」です。昨年度の0.24からは上昇していますが、3項目の質問の中で、授業は生徒の興味関心を高める工夫がされているか（0.19）、授業は生徒一人一人の理解度に合わせているか（0.35）の2つの項目で、特に低い評価となっています。生徒による授業評価では、「興味・関心がわき、もっと学びたいような授業でしたか。」という項目において、約80%の生徒がB（大体あてはまる）以上の評価ではありました。授業改善については生徒による授業評価や校内研修会の実施をはじめ、保護者等を対象にした公開授業（授業研究）を行い、参観者による授業評価で改善に努めてまいりました。また本校ではティームティーチングの実施や支援員の配置など、個に応じた対応を積極的に努めて参りました。今後ともさらなる努力を続けて参ります。

次に厳しい評価をいただいた分野が「施設」、次に「進路指導」です。施設では、本校のような小規模校は施設・設備で大きな制約があります。限られた財源を有効に活用して整備に努めるとともに、指導内容を改善することで、施設・設備の制約を超える充実した教育活動を展開できればと考えています。

進路指導では、進路指導通信の発行や三者懇談会の開催などによる情報発信や個に応じた対応に努めて参りました。しかし、厳しい評価は真摯に受け止め一層の改善に努めて参ります。

最後に質問項目で評価の低かった「生徒の悩みや不安を聴く相談活動は、適切に行われているか」につきましては、生徒理解研修会の複数回開催やスクールカウンセラー・パートナーティーチャーの活用等を通して生徒理解を大切にしたい指導に努めております。今後は一層の相談活動の充実に努力をして参ります。